

講義名	特別セミナーⅢ		
科目区分	特別研究		
担当教員	中島 孝子／羽森 直子		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限	授業形態	
	2017年度 経済学部 経済情報学科 情報システムコース／2017年度 経済学部 経済情報学科 経済情報コース ／2017年度 経済学部 経済情報学科 2017年度 経済学部 経済学科 地域まちづくりコース／2017年度 経済学部 経済学科 現代経済コース／2017年度 経済学部 経済学科／		
履修開始年次	4年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

経済学部では、公と民、地域と世界など、複眼的な視点で現代社会が直面するさまざまな経済問題を分析し解決策を提案できる人材育成を目指している。特別セミナーⅠ～Ⅲは、経済学的思考法を必要とする業務・業界を志す、特に学習意欲の高い学生に対して、ディスカッションなども通じて経済学を学ぶプログラムである。具体的には大学院、銀行・証券会社など金融業界、企業0官公庁の調査・研究部門などをめざす学生に受講を勧める。特別セミナーⅢでは、これまでに身につけてきた基本概念を応用することを学ぶ。同時に、具体的な進路とそれに伴う試験（大学院入試や入社試験、口頭試問、面接など）に向けた準備をする。

到達目標

これまでに身につけた経済学の思考法にもとづき、社会の様々な問題に対して経済理論に基づく分析と対策の検討を行えるための基礎的能力を確かなものとする。さらに、自分の意見・考えを論理的に表現できるようにする。

提出課題

授業内で指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

課題提出後、講評・解説を行う。

評価の基準

平常点75%、レポート課題点25%

履修にあたっての注意・助言他

受講態度が悪い場合には、減点する。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

必要に応じて資料を適宜配布する。

授業計画

第1～2回 卒業後の進路・基本概念の復習と応用1
第3～5回 応募書類の作成・基本概念の復習と応用2
第6～8回 論文筆記1・基本概念の復習と応用3
第9～11回 論文筆記2・基本概念の復習と応用4
第12～14回 口頭試問または面接・基本概念の復習と応用5
第15回 まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業中に指示する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考